

バラの育て方 鉢苗

関東平野部基準

鉢苗とは、秋冬に大苗を鉢に植えたもの、もしくは春の新苗を鉢に上げて秋以降まで育て上げたものです。しっかり植え込んだ苗なので、初心者にも安心して育てられます。

長尺鉢苗

(枝数は1~数本です。)



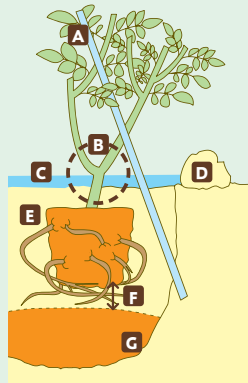
鉢苗



商品形態は
お届けする時期により異なります。

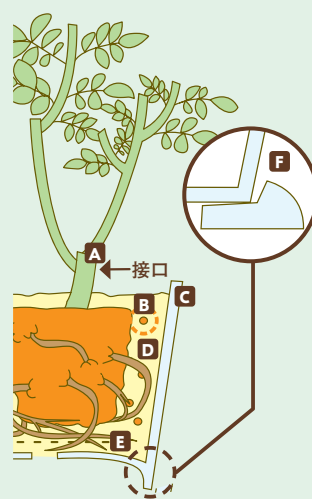
植え付け… 庭に植える

- A** 支柱で固定する
 - B** 接ぎ木テープがあれば除く
 - B** 接ぎ口は地際に
※寒冷地では、接ぎ口より6~8cm
深く埋める(防寒のため)
 - C** 水をたっぷり染み込ませる
(20~30ℓ)
 - D** 少し土をとっておき、土手をつくと水がしっかり浸み込む。
水が引いたら埋め戻す
 - E** 庭土 -
元肥専用肥料は庭土に混用できる。
11~2月の冬期は、たい肥を
混ぜてもよい
 - F** 冬期以外は**G**と
根が直接触れないように
- G** (庭土 + 元肥 + たい肥) をよく混ぜる



植え付け… 鉢に植える

- A** 接ぎ木テープがあれば除く
※接ぎ木部分は地表から出るようにするが、10号以上の鉢ならば接ぎ口は地際に
- B** 元肥専用肥料のみ
用土に混ぜることができる
- C** 8号鉢以上
※ミニバラ: 5号以上
※つるバラ: 10号以上
- D** 培養土
- E** 鉢底網があれば
鉢底石は12号まで
必要ない
- F** 鉢底が平らな鉢は
水はけが悪いので、
ポットフィートを使う



植え付けのポイント! 庭植えにする? それとも鉢植え?

庭植えのメリット

- ・環境があれば最速で株が充実するので、花も早くたくさん楽しめる。
- ・根付けば水やりや施肥の回数が少なくすむ。
- ・根が年々大きく育つので、体力が付きやすい。

鉢植えのメリット

- ・季節に応じて環境の良い所に移動できる。
- ・品種の伸びや樹形などを見極めてから庭に定植できる。
- ・生育に合わせて、個別に施肥や水の管理ができる。

お手入れカレンダー

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
植え付け													
誘引												誘引	
剪定								花がら切り					
寒肥(庭植のみ)									つるバラの新しく伸びたつるの仮誘引、 四季咲バラのベールシュート処理			寒肥 (庭植のみ)	
鉢植への施肥(葉を失った時は控える)													

凡例

適期
可能な時期